

## 作家 高野史緒（たかのふみお）氏（平成2年人文学部卒）第58回江戸川乱歩賞を受賞

平成2年度に人文学部人文学科を卒業した作家の高野史緒氏が第58回江戸川乱歩賞（日本推理作家協会主催）を受賞しました。

江戸川乱歩賞は1954年に江戸川乱歩の寄付を基金として、探偵小説奨励の賞を目的として制定されました。「その年度の探偵小説の諸分野において顕著なる業績を示した人に、過去の実績をも考慮して贈賞する」というもので、功労賞としての意味合いを備えた賞としてスタートし、今年で58回目となります。

### 受賞作「カラマーゾフの妹」のあらすじ

カラマーゾフ事件から十三年後。カラマーゾフ家の次男イワンはモスクワで内務省未解決事件課の特別捜査官として活躍していた。イワンは父親を殺したのが兄ドミートリーであるということに以前から疑問を抱いており、ついに事件の真相を確かめることを決意する。事件以来はじめて、故郷に足を踏み入れたイワンだったが、捜査をすすめるうちにまた新たな事件が起こり——。十三年前の真犯人は誰なのか。新たな事件は誰が、何のために起こしているのか、そして、謎解きの向こうに見えるものとは。息詰まる展開、そして驚愕の結末！